



報道発表資料の配付日時 10月31日 (月) 11時00分

発表項目 (行事名)	「最近の経済動向 (令和4年10月号)」の公表について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>要旨 「最近の経済動向 (令和4年10月号)」をとりまとめたので、お知らせします。</p> <p>■ 景気の総括判断 (主に8月の経済指標に基づく判断)</p> <p>「一部に弱さが残るものの、緩やかに持ち直している」 【判断 <u>据え置き</u>】</p> <p>令和4年9月号: 「一部に弱さが残るものの、緩やかに持ち直している」 令和4年8月号: 「一部に弱さが残るものの、緩やかに持ち直している」</p> <p>【生産活動】 持ち直しの動きがみられる ・ 鉱工業生産指数 (季節調整済指数) は86.3で、前月比0.2%の増加</p> <p>【個人消費】 一部に弱さが残るものの、経済社会活動の正常化が進む中で、全体として持ち直している ・ 百貨店販売額は121億円で、前年同月比24.2%の増加 ・ スーパー販売額は702億円で、同1.3%の減少 ・ コンビニ販売額は540億円で、同5.3%の増加 ・ 家電大型専門店販売額は110億円で、同13.2%の減少 ・ ドラッグストア販売額は260億円で、同3.5%の増加 ・ ホームセンター販売額は114億円で、同2.0%の減少 ・ インターネットを利用した一世帯支出額は15,109円で、同0.8%の増加 ・ 新車登録台数は10,190台で、同6.6%の減少</p> <p>【住宅建設】 弱い動きがみられる ・ 新設住宅着工戸数は3,180戸で、前年同月比6.1%の増加</p> <p>【公共工事】 高い水準にあるものの、弱さがみられる ・ 公共工事請負金額は540億円 (9月) で、前年同月比0.4%の減少</p> <p>【観光】 経済社会活動の正常化が進む中で持ち直しの動きが続いている ・ 来道者数は120万5千人で、前年同月比97.4%の増加 ・ 日本旅館協会加盟施設の宿泊者数は35万9千人 (9月) で、同95.2%の増加</p> <p>【雇用】 緩やかに持ち直しの動きがみられる ・ 有効求人倍率は1.12倍で、前年同月差0.15ポイントの増加 ・ 完全失業率 (4-6月期) は3.7%で、前年同期差0.8ポイントの増加</p>		
参考	<p>○詳細は、道のホームページに掲載している「最近の経済動向」(本編及びデータ編)をご参照願います。 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/index_keizai-keiki.htm 【経済企画課－北海道の経済・景気－】</p>		
報道(取材)の 当りお願			
他のクラブ との関係	同時配付 : (配布先) 北海道経済記者クラブ (場所) 札幌市中央区北1条西2丁目		
担 (連絡先)	経済部 経済企画局 経済企画課 経済調査係 (課長補佐: 古井) TEL ダイヤルイン 011-204-5139 内線 26-903		

最近の経済動向

(ダイジェスト版)

令和4年10月号

(北海道の景気動向～令和4年8月の経済指標を中心として)

一部に弱さが残るものの、緩やかに持ち直している

■ 生産動向

P1 生産活動(鉱工業生産指数)
持ち直しの動きがみられる

■ 需要動向(消費・投資)

P1 個人消費(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店販売額、
インターネットを利用した一世帯支出額、新車登録台数)
一部に弱さが残るものの、経済社会活動の正常化が進む中で、全体として持ち直している

P3 住宅建設(新設住宅着工戸数)
弱い動きがみられる

P3 公共工事(公共工事請負金額)
高い水準にあるものの、弱さがみられる

P4 観光(来道者数、来道外国人数、宿泊者数)
経済社会活動の正常化が進む中で、持ち直しの動きが続いている

P5 輸出入(輸出額、輸入額)
輸入額、輸出額ともに前年を上回った

■ 企業倒産

P5 企業倒産(倒産件数、負債総額)
倒産件数は増加し、負債総額は減少した

■ 雇用動向

P6 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率、完全失業率)
緩やかに持ち直しの動きがみられる

■ 物価動向

P7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を上回った

■ 企業の業況感

P7 企業経営者意識調査
前期から上昇している

P8 企業のみなさまから伺いました

北海道経済部経済企画局経済企画課

■生産活動～持ち直しの動きがみられる

鉱工業生産指数(8月)

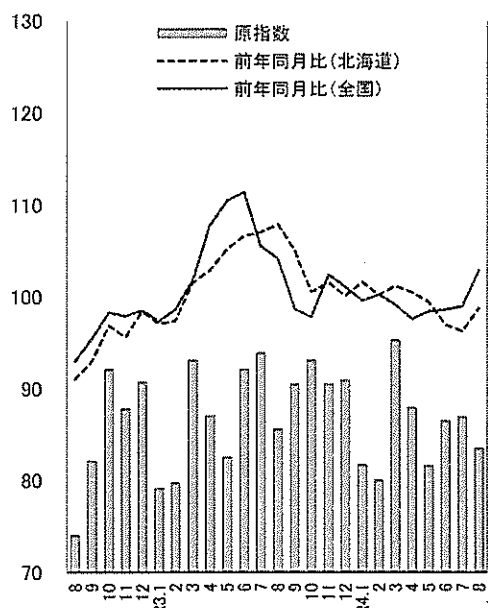
鉱工業生産指数の原指数は、83.5(平成27年=100)で前年同月比△2.5%となり、4か月連続で前年を下回った。

季節調整済指数は、86.3となり、2か月連続で前月を上回った。

【原指数】

(平成27年=100)

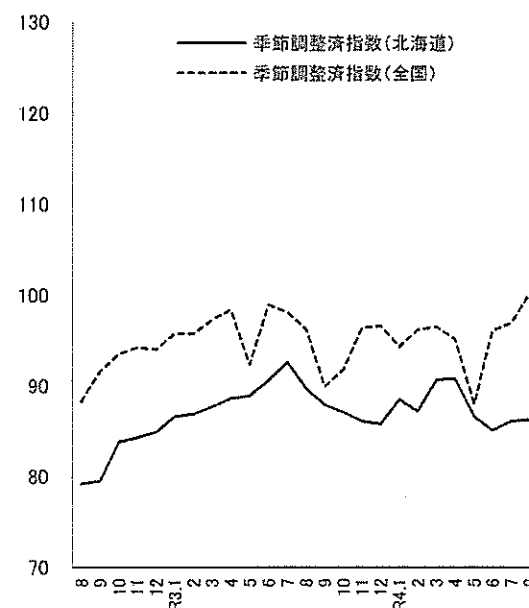
(前年同月比: %)



(資料:北海道経産局、経済産業省)

【季節調整済指数】

(平成27年=100)

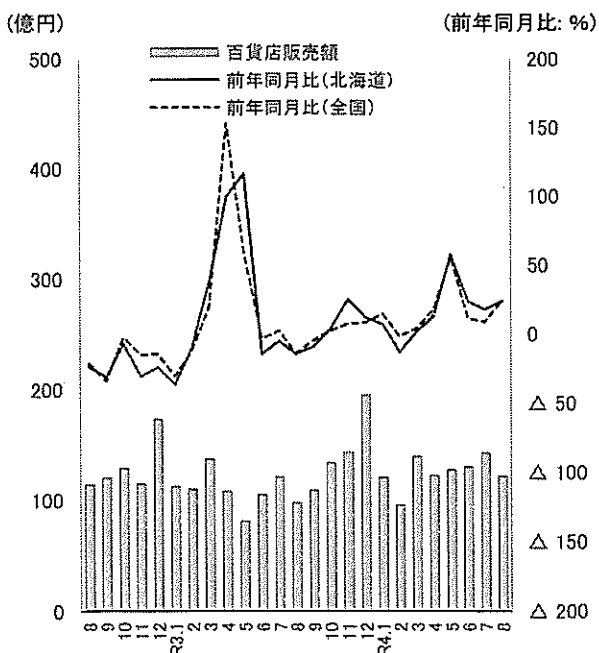


(資料:北海道経産局、経済産業省)

■個人消費～一部に弱さが残るものの、経済社会活動の正常化が進む中で、全体として持ち直している

百貨店販売額(8月)

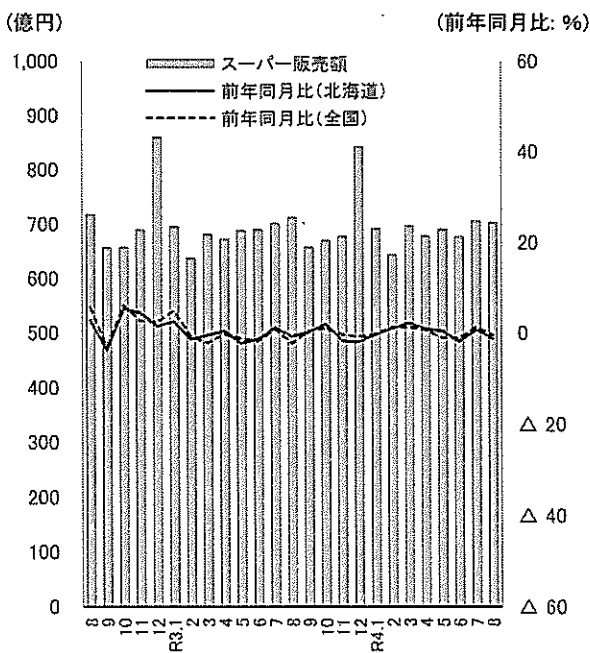
百貨店販売額は、121億円で前年同月比+24.2%となり、6か月連続で前年を上回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

スーパー販売額(8月)

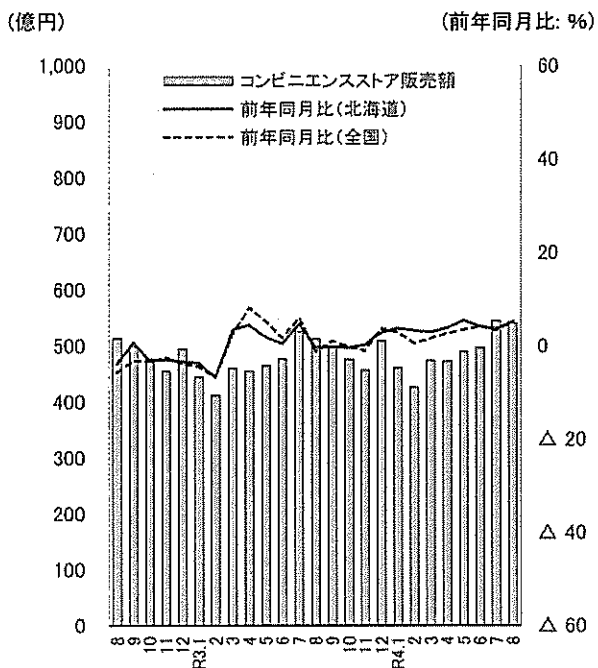
スーパー販売額は、702億円で前年同月比△1.3%となり、2か月ぶりに前年を下回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

コンビニエンスストア販売額(8月)

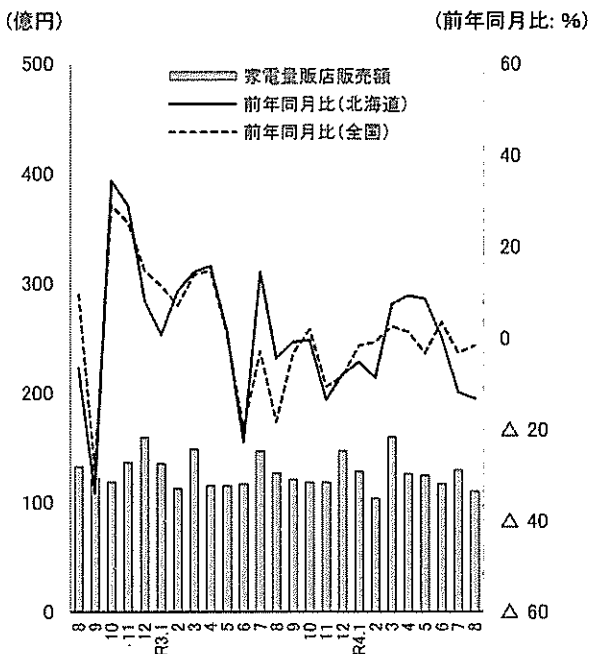
コンビニエンスストア販売額は、540億円で前年同月比+5.3%となり、10か月連続で前年を上回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

家電大型専門店販売額(8月)

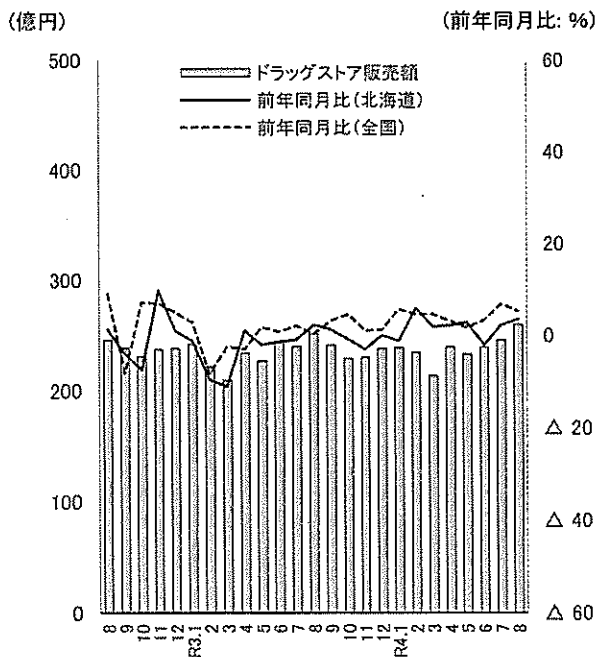
家電大型専門店販売額は、110億円で前年同月比△13.2%となり、2か月連続で前年を下回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

ドラッグストア販売額(8月)

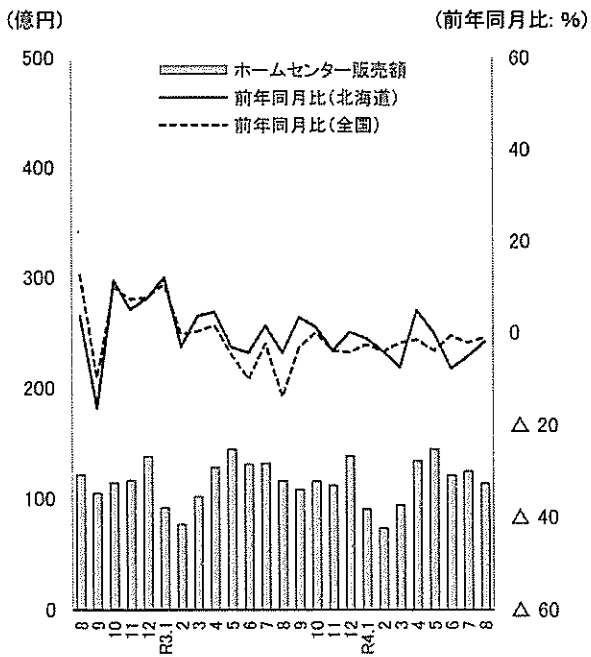
ドラッグストア販売額は、260億円で前年同月比+3.5%となり、2か月連続で前年を上回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

ホームセンター販売額(8月)

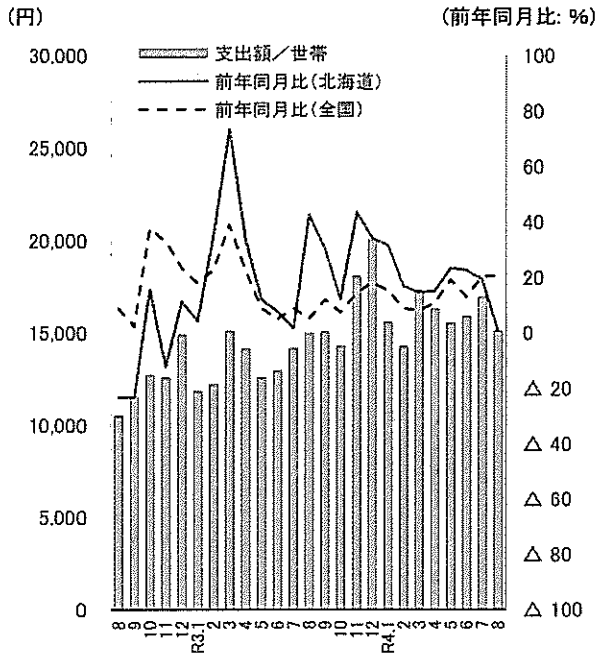
ホームセンター販売額は、114億円で前年同月比△2.0%となり、4か月連続で前年を下回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

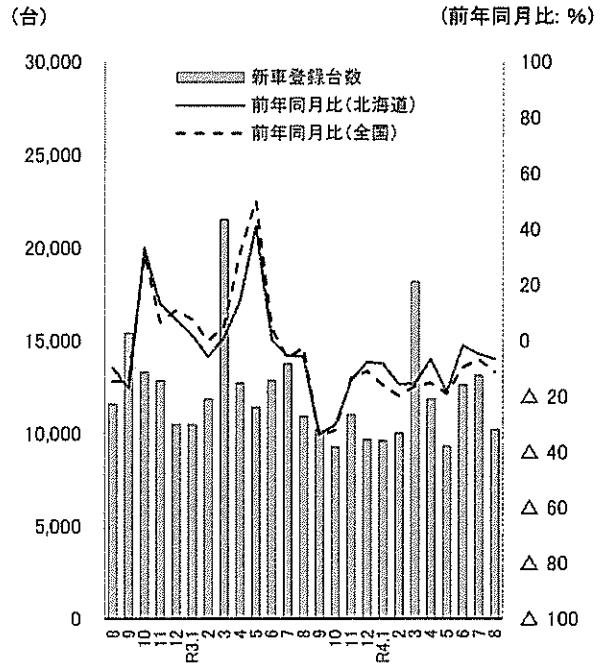
インターネットを利用した1世帯あたり1か月の支出(8月)

インターネットを利用した1世帯あたり1か月の支出総額は、15,109円で前年同月比+0.8%となり、21か月連続で前年を上回った。



新車登録台数(8月)

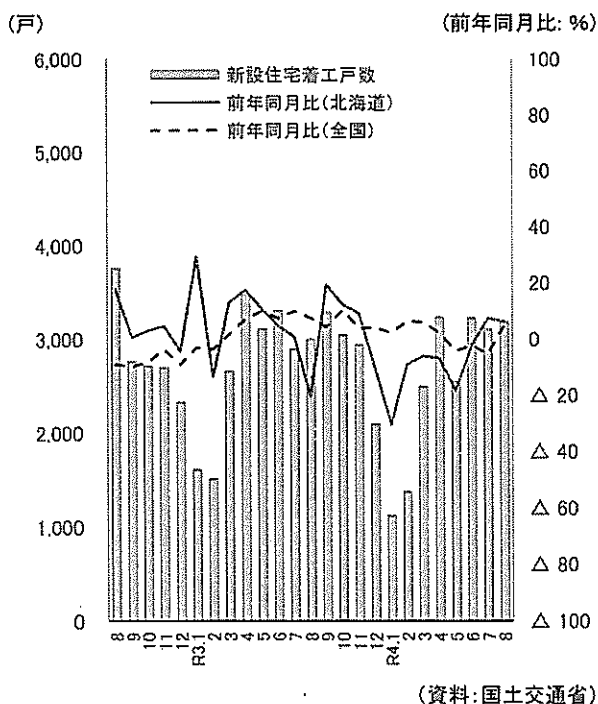
新車登録台数は、10,190台で前年同月比△6.6%となり、14か月連続で前年を下回った。



住宅建設～ 弱い動きがみられる

新設住宅着工戸数(8月)

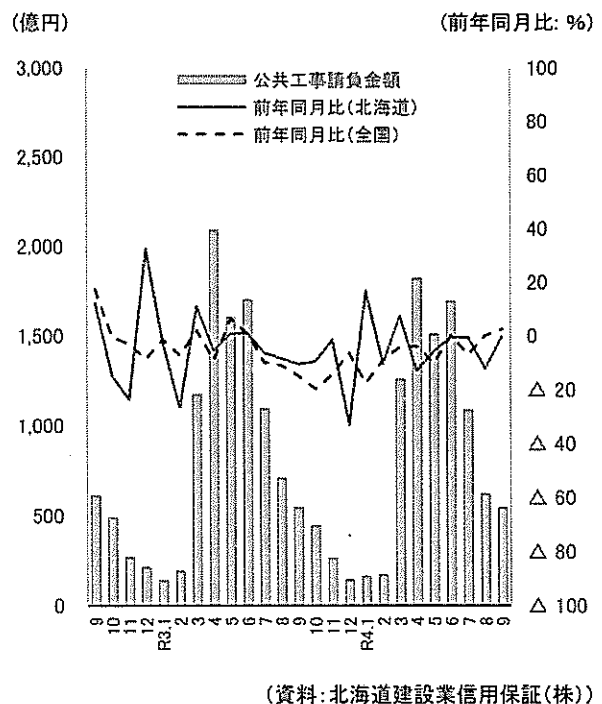
新設住宅着工戸数は、3,180戸で前年同月比+6.1%となり、2か月連続で前年を上回った。



公共工事～ 高い水準にあるものの、弱さがみられる

公共工事請負金額(9月)

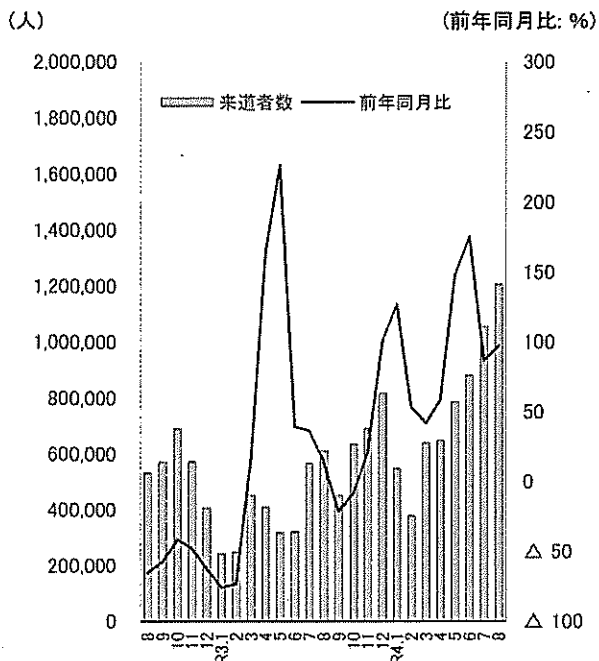
公共工事請負金額は、540億円で前年同月比△0.4%となり、6か月連続で前年を下回った。



■観光～経済社会活動の正常化が進む中で、持ち直しの動きが続いている

来道者数(8月)

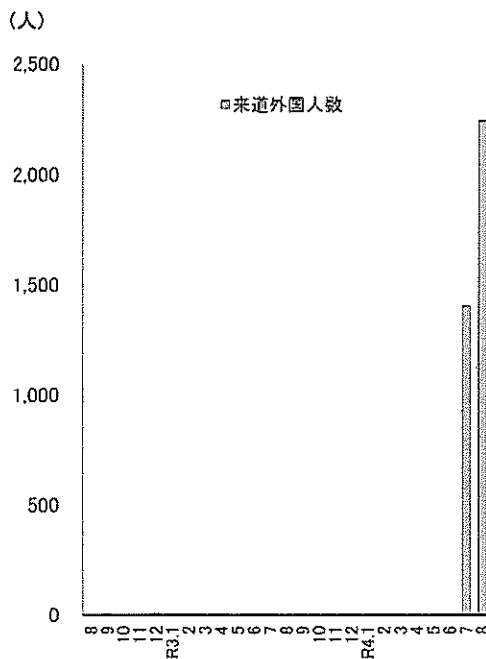
来道者数は、1,205,170人で前年同月比+97.4%となり、10か月連続で前年を上回った。



(資料: (公社)北海道観光振興機構)

来道外国人数(8月)

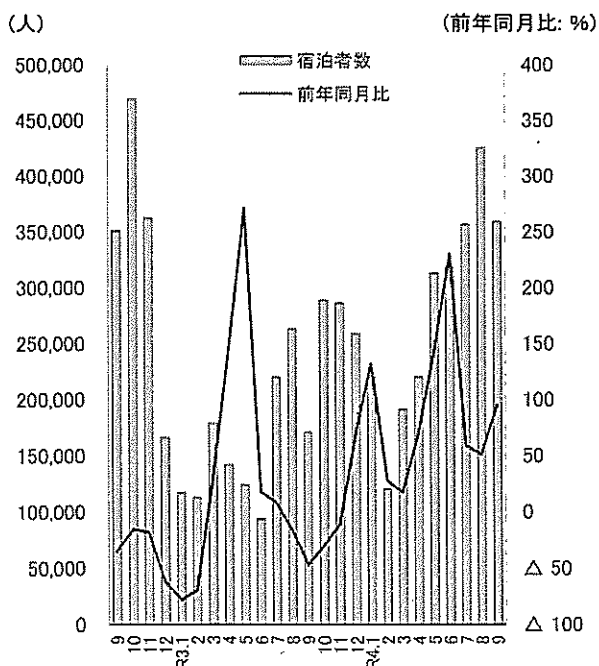
本道に直接入国した外国人は、2,242人となった。



(資料: 法務省入国管理局)

宿泊者数(9月)

日本旅館協会加盟施設の宿泊者数は、358,896人で前年同月比+95.2%となり、10か月連続で前年を上回った。

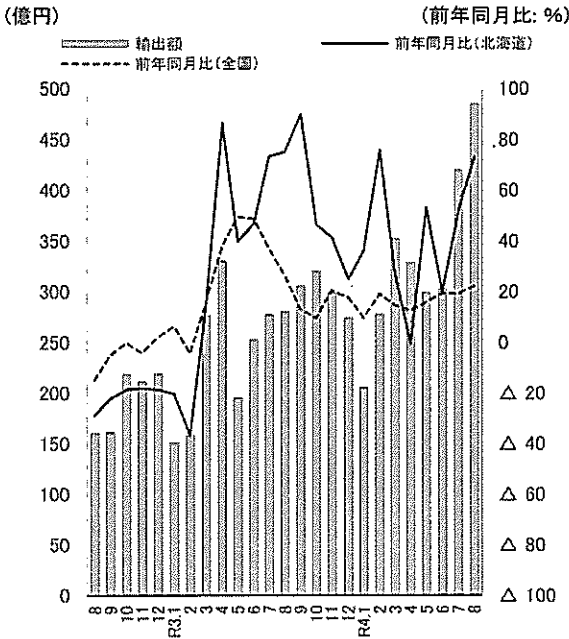


(資料: 日本旅館協会北海道支部連合会)

■輸出入～輸入額、輸出額ともに前年を上回った

輸出額(8月)

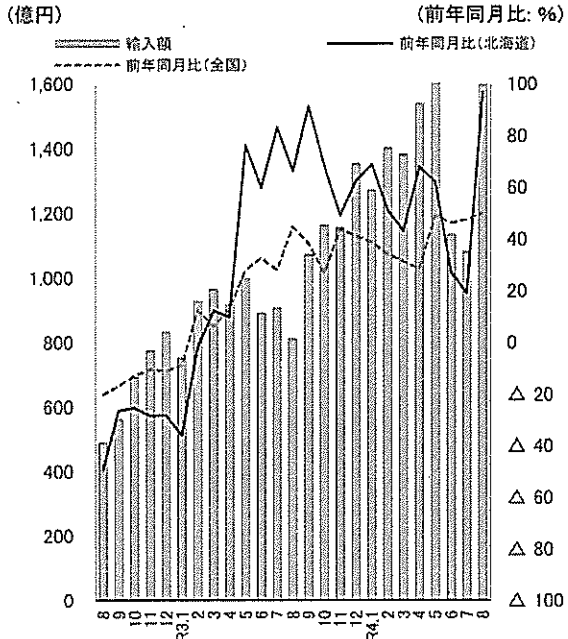
輸出額は、485億円で前年同月比+72.9%となり、4か月連続で前年を上回った。



(資料:財務省)

輸入額(8月)

輸入額は、1,596億円で前年同月比+96.7%となり、18か月連続で前年を上回った。

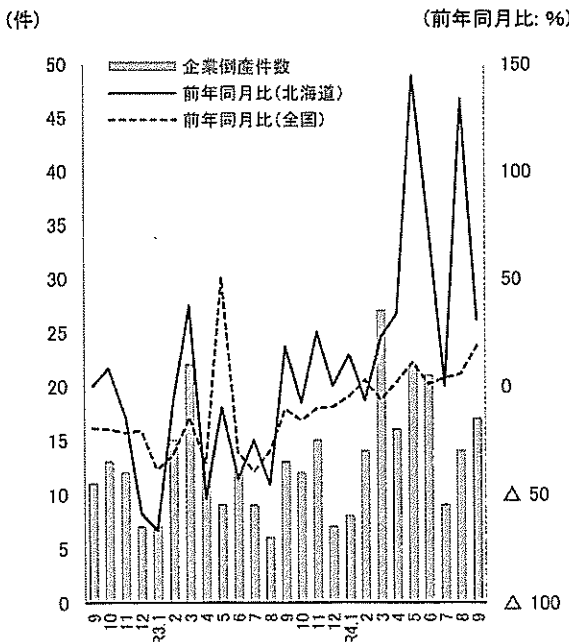


(資料:財務省)

■企業倒産～倒産件数は増加し、負債総額は減少した

倒産件数(9月)

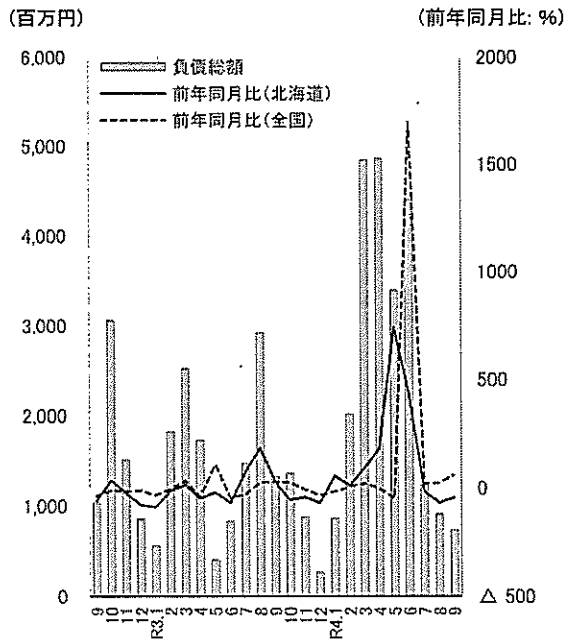
企業倒産件数は、17件で前年同月と比べ4件の増加となった。



(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社)

負債総額(9月)

負債総額は、731百万円で前年同月比△44.9%となり、3か月連続で前年を下回った。



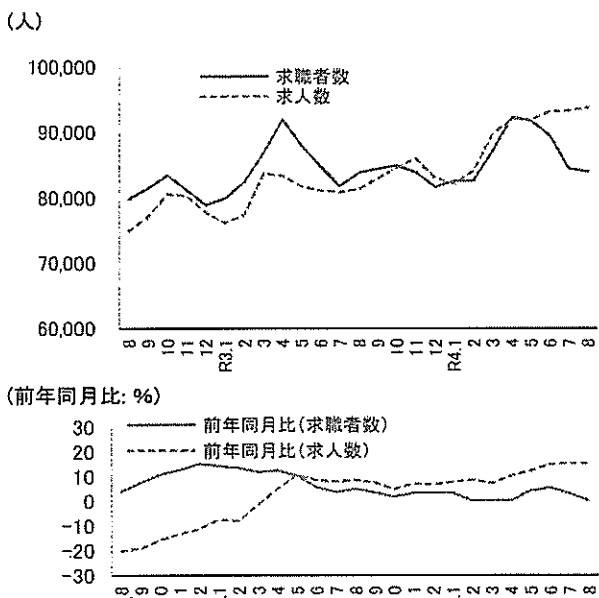
(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社)

■求人・求職～緩やかに持ち直しの動きがみられる

月間有効求人数・求職者数(8月)

月間有効求職者数は、83,981人で前年同月比+0.2%となり、25か月連続で前年を上回った。

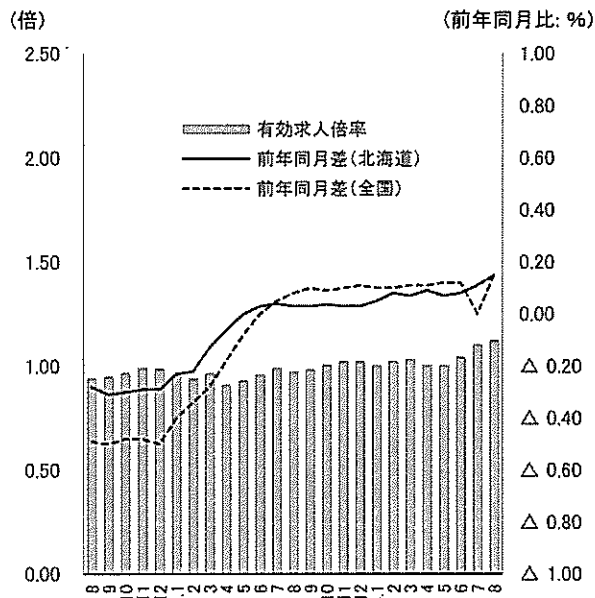
月間有効求人数は、93,742人で前年同月比+15.3%となり、17か月連続で前年を上回った。



(資料:北海道労働局)

月間有効求人倍率(8月)

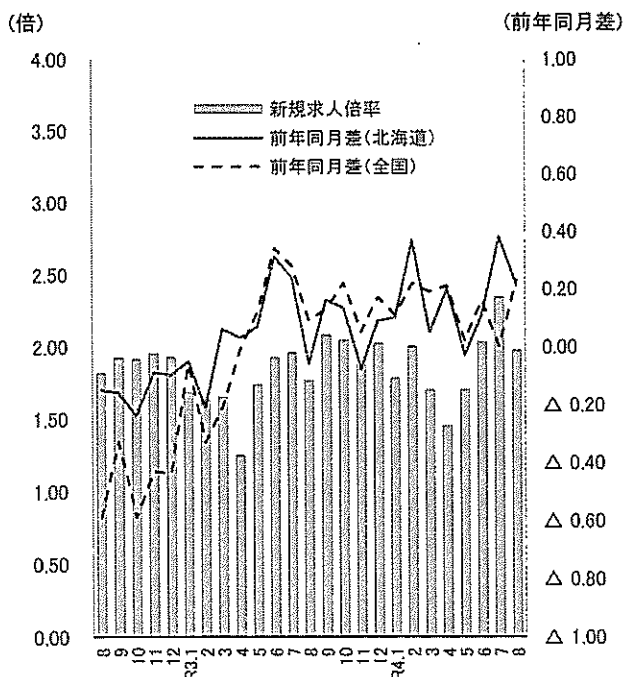
月間有効求人倍率は、1.12倍で前年同月差+0.15ポイントとなり、15か月連続で前年を上回った。



(資料:北海道労働局)

新規求人倍率(8月)

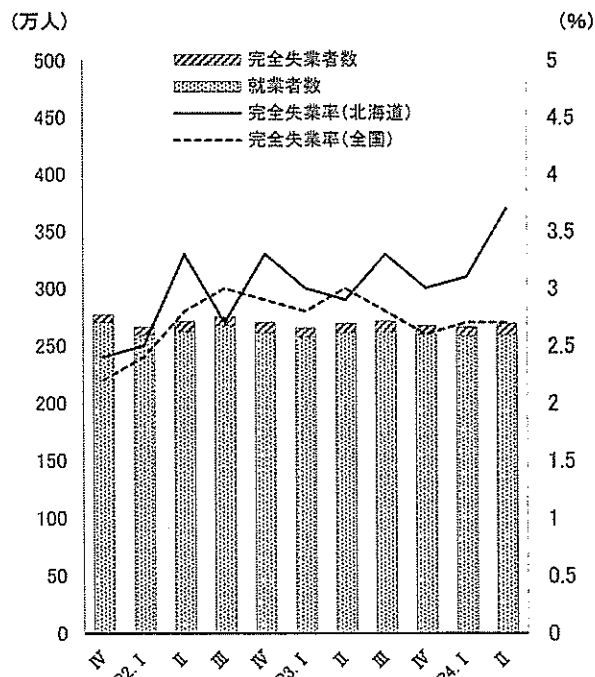
新規求人倍率は、1.97倍で前年同月差+0.21ポイントとなり、3か月連続で前年を上回った。



(資料:北海道労働局)

完全失業者数(率)(令和4年4~6月期)

完全失業者数は、10万人で前年同期差+2万人となった。
完全失業率は、3.7%で前年同期差+0.8ポイントとなった。

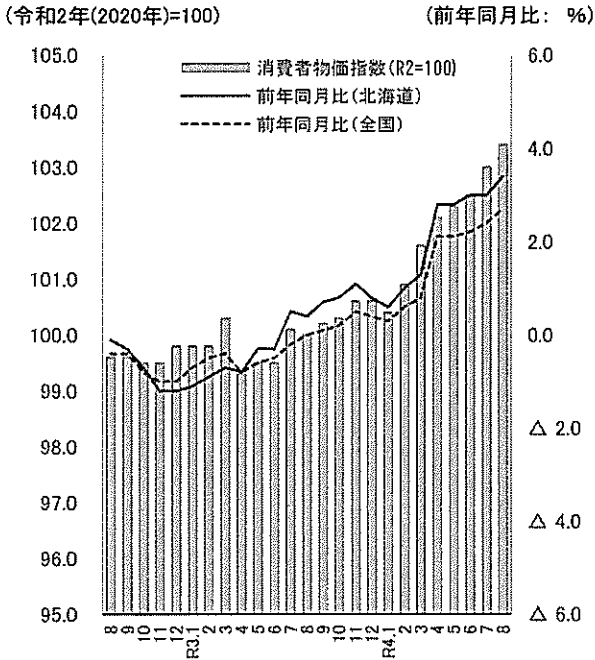


(資料:総務省)

■物価～
消費者物価指数は前年を上回った

消費者物価指数(8月)

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、103.4で前年同月比+3.4%となり、14か月連続で前年を上回った。



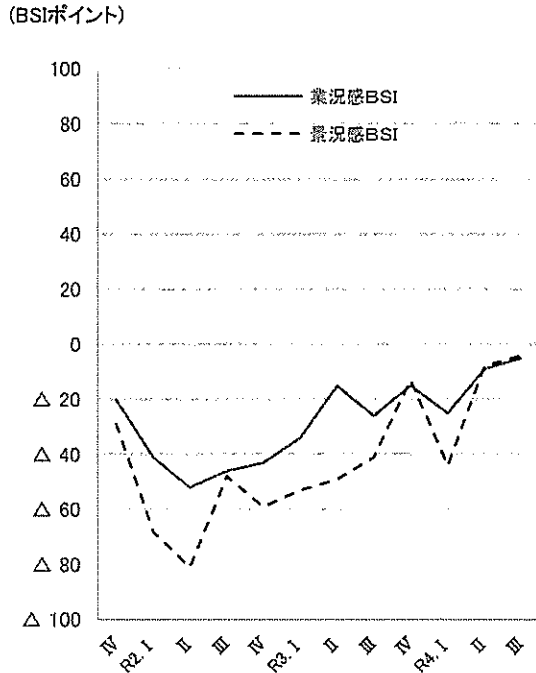
(資料:総務省)

■企業経営者意識調査～
前期から上昇している

令和4年4～6月期(第Ⅱ四半期)

令和4年4～6月期(第Ⅱ四半期)の業況感BSIは△9ポイントで前期差+16ポイント、前年同期差+6ポイントとなった。

来期見通しは、△5ポイントで、今期から+4ポイントとなった。



※BSIポイント
「上昇」と回答の割合(%)-「下降」と回答の割合(%)

※業況感BSI
自社の業況について、前年同時期との比較で「上昇」、「横ばい」、「下降」を回答

※景況感BSI
道内の景気について、直前の四半期との比較で「上昇」、「横ばい」、「下降」を回答

(資料:北海道経済部調べ)

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央地域)

新型コロナウイルス感染拡大の第7波の下でも、行動制限がなく、前年同月に対して、売上、入店客数ともに上昇。

お出かけ機会の増加に伴う土産物需要や売り場の改装などを背景に、菓子の売上げが好調。また、催事や喫茶・食堂も好調に推移。

また、外商部門は前年に比べ大きくプラスとなったほか、衣料品など含め全体的に売上は堅調が続いており、いまのところ、お客様の購買行動に、節約志向などは見られない。

◆スーパー(道央地域)

9月は、売上は前年同月に対して、またコロナ禍前と比べても、若干上回った。特に、値上げ前の駆け込み需要で、酒を中心に売上が伸張した。

台風などの影響もあったが、全体的に好天に恵まれ、活発に人が動いたこともあり、惣菜などの即食系商品が好調だった。

◆コンビニエンスストア(道央地域)

連休以外は比較的天候に恵まれ、行動制限もなく観光も含め人流が回復しているため客数が増加し、おにぎりや弁当、飲料水などが好調に推移した。

昨年は煙草やアルコール類の値上げによる駆け込み需要があり、その反動を受けた。

最近の経済動向

(ダイジェスト版)

令和4年8月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/saikin-doukou.html>